



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月28日

上場会社名 極東証券株式会社

上場取引所 東

コード番号 8706 URL <http://www.kyokuto-sec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菊池 一広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 茅沼 俊三

TEL 03-3666-5130

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,732	48.0	6,683	48.5	2,958	246.7	3,406	174.8	2,431	190.9
2020年3月期第3四半期	4,548	—	4,500	—	853	—	1,239	—	836	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,943百万円 (330.0%) 2020年3月期第3四半期 684百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	76.23	—
2020年3月期第3四半期	26.21	—

(注) 2021年3月期第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、2020年3月期第3四半期連結累計期間については、当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しております。また、2020年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は、表示方法の変更が行われたため、記載しておりません。詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」をご覧ください。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	76,154	44,576	58.5	1,397.04
2020年3月期	68,471	42,749	62.4	1,339.78

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 44,567百万円 2020年3月期 42,741百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—

(注) 当社は業績予想を開示していないため、2021年3月期の期末配当予想額は未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

当社は、連結業績予想の開示を行っておりません。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(注)2020年12月31日現在、連結子会社は2社となっております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	32,779,000 株	2020年3月期	32,779,000 株
2021年3月期3Q	877,512 株	2020年3月期	877,512 株
2021年3月期3Q	31,901,488 株	2020年3月期3Q	31,901,494 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、連結業績予想の開示を行っておりません。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間) .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
「参考資料」 .....	10
1. 2021年3月期第3四半期連結決算資料 .....	10
(1) 受入手数料 .....	10
(2) トレーディング損益 .....	10
(3) 連結損益計算書の四半期推移 .....	11
2. 2021年3月期第3四半期決算資料 .....	12
(1) 自己資本規制比率 .....	12
(2) 役職員数 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、「当期」という。）の国内外の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により4月から6月の世界経済は大きく落ち込みました。その後も都市封鎖再開などが各国で見られましたが、各国による未曾有の規模の金融・財政政策により世界的に景気は回復基調が続きました。

株式市場は、景況感の改善を反映する形で戻り相場となり、その後は米国、ドイツ、新興国ではブラジル、インドなどが史上最高値を更新しました。11月の米国大統領選挙後は一段の景気対策への期待などから株価の騰勢が強まりました。こうした中、当期末の日経平均株価は前年度末から45%上昇し、1990年8月以来の水準である27,444円で終わりました。なお米国では、ダウ工業株30種平均が同40%、NASDAQ総合指数は同67%上昇いたしました。

外国為替市場では、ドル安が進みました。円は対ドルで緩やかな円高基調で推移し当期末は1ドル=103.50円でした。他方、円は対ユーロでは下落し当期末は1ユーロ=126.95円でした。

債券市場では、米国10年国債利回りは8月以降は緩やかな上昇に転じましたが、日本の10年国債は総じて小幅な動きが続き、同利回りは0.020%で当期末を終えました。

なお新興国市場は、国により差はあるものの株式、為替、債券とも堅調な戻り相場となりました。

こうした環境の中、当社は、お客さまの多様なニーズにお応えするため、「特色ある旬の商品」の提供に努めました。また、株主資本の効率的運用の観点から、積極的な財務運営も行っていました。その結果、当期の業績につきましては、営業収益67億32百万円（前年同期比148.0%）、純営業収益66億83百万円（同148.5%）、営業利益29億58百万円（同346.7%）、経常利益34億6百万円（同274.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億31百万円（同290.9%）となりました。なお、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（追加情報）」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、経営成績については当該表示方法の変更を反映した組替え後の前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の数値を用いて比較しております。

当期における収益等の内訳は以下ようになっております。

#### ①受入手数料

「受入手数料」は、12億80百万円（前年同期比124.1%）となりました。受入手数料の内訳は以下のようになっております。

##### （委託手数料）

株券委託手数料は、7億89百万円（同135.7%）を計上し、これに受益証券（上場投信）委託手数料を加えた「委託手数料」は、8億26百万円（同135.0%）となりました。

##### （引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料）

「引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料」は、12百万円（同94.1%）となりました。

##### （募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料）

「募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料」は、受益証券（投資信託）の取扱いの増加により、2億81百万円（同119.9%）となりました。

##### （その他の受入手数料）

主に受益証券（投資信託）の代行手数料からなる「その他の受入手数料」は、1億59百万円（同93.2%）となりました。

#### ②トレーディング損益

株券等トレーディング損益は、56百万円の利益（前年同期比193.1%）、債券等トレーディング損益は、44億200百万円の利益（同189.2%）、為替のデリバティブ取引を中心としたその他のトレーディング損益は、1億52百万円の利益（前年同期は43百万円の損失）となりました。以上の結果、「トレーディング損益」は、46億290百万円の利益（前年同期比199.3%）となりました。

#### ③金融収支

金融収益8億9百万円（前年同期比68.5%）から金融費用49百万円（同101.1%）を差し引いた「金融収支」は、7億60百万円（同67.1%）となりました。

#### ④販売費・一般管理費

「販売費・一般管理費」は、37億24百万円（前年同期比102.1%）となりました。

#### ⑤営業外損益

営業外収益は、受取配当金等合計で5億71百万円（前年同期比143.3%）を計上いたしました。一方、営業外費用は、為替差損等合計で1億22百万円（前年同期は11百万円）を計上し、「営業外損益」は、4億48百万円の利益（前年同期比116.0%）となりました。

## ⑥特別損益

特別利益は、投資有価証券売却益等合計で1億18百万円（前年同期は2百万円）を計上いたしました。一方、特別損失は、固定資産除却損等合計で14百万円（前年同期比29.6%）を計上し、「特別損益」は、1億3百万円の利益（前年同期は47百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、573億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億71百万円増加いたしました。これは主に、預託金が38億20百万円増加したことによるものであります。固定資産は、188億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億12百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が37億28百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、761億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億83百万円増加いたしました。

## ②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、300億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億36百万円増加いたしました。これは主に、預り金が64億99百万円増加したことによるものであります。固定負債は、15億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。これは、退職給付に係る負債が13百万円、その他の固定負債が12百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、315億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億57百万円増加いたしました。

## ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、445億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億26百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が13億15百万円、その他有価証券評価差額金が5億11百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「業績予想を開示しない理由」

当社の連結営業収益は、証券市場に係る受入手数料及びトレーディング損益を柱としており、その大半が株式市場及び債券市場を源泉としております。株式・債券市場の好・不調による業績への影響を緩和するため、収益源の多様化を通じて収益の安定性確保に努めておりますが、それでもなお、業績が証券市場の動向に左右され、大きく変動する可能性があります。また、国内外の金融商品市場の急激な変動により、当社が保有している金融商品の評価損益が多額になる可能性もあります。

一般的に、証券市場や外国為替市場は、内外の政治・経済情勢、金利、企業収益等、様々な要因を反映して変動します。したがって、当社の連結業績を予想するためには、あらかじめこれら変動要因を予測しつつ将来の市場動向を的確に把握する必要がありますが、それを実現することは、不可能に近いのが実情でございます。こうした不確実な要因により予想と実績の間に大きな乖離が生ずる可能性の高い状況の中で、敢えて業績予想を開示することは、結果的に、市場に誤ったメッセージを発信することにつながりかねず、公正な株価形成を阻害する恐れがあります。

上述の理由から、当社は、連結業績予想の開示は行わず、その代替として業績数値の早期開示に努めることとし、連結業績の数値がほぼ確定すると考えられる期末又は四半期末から起算して10営業日を目途に、当該数値を速報値として公表してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	18,794	23,573
預託金	11,695	15,515
トレーディング商品	19,233	14,916
商品有価証券等	19,230	14,888
デリバティブ取引	2	28
約定見返勘定	271	95
信用取引資産	2,350	2,384
信用取引貸付金	2,267	2,193
信用取引借証券担保金	83	191
その他の流動資産	827	857
貸倒引当金	△1	△1
流動資産計	53,171	57,343
固定資産		
有形固定資産	1,999	1,945
建物	491	457
土地	1,175	1,175
その他	332	312
無形固定資産	83	71
投資その他の資産	13,216	16,794
投資有価証券	12,020	15,749
その他	1,230	1,116
貸倒引当金	△34	△71
固定資産計	15,299	18,811
資産合計	68,471	76,154
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	6	13
デリバティブ取引	6	13
信用取引負債	548	533
信用取引借入金	374	274
信用取引貸証券受入金	174	258
預り金	11,903	18,402
短期借入金	9,350	9,350
未払法人税等	15	791
賞与引当金	175	154
その他の流動負債	2,223	815
流動負債計	24,222	30,059
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
退職給付に係る負債	49	63
その他の固定負債	429	442
固定負債計	1,478	1,505
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	19	13
特別法上の準備金計	19	13
負債合計	25,721	31,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,251	5,251
資本剰余金	4,774	4,774
利益剰余金	34,810	36,126
自己株式	△863	△863
株主資本合計	43,973	45,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,232	△721
その他の包括利益累計額合計	△1,232	△721
非支配株主持分	8	8
純資産合計	42,749	44,576
負債・純資産合計	68,471	76,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益		
受入手数料	1,031	1,280
委託手数料	612	826
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	13	12
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	234	281
その他の受入手数料	170	159
トレーディング損益	2,322	4,629
金融収益	1,180	809
その他の営業収入	14	13
営業収益計	4,548	6,732
金融費用	48	49
純営業収益	4,500	6,683
販売費・一般管理費		
取引関係費	384	382
人件費	2,230	2,233
不動産関係費	368	359
事務費	404	411
減価償却費	68	67
租税公課	109	144
貸倒引当金繰入額	—	36
その他	81	90
販売費・一般管理費計	3,647	3,724
営業利益	853	2,958
営業外収益		
受取配当金	213	307
投資事業組合運用益	81	214
為替差益	24	—
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	79	49
営業外収益計	398	571
営業外費用		
為替差損	—	116
あっせん和解金	10	5
その他	1	1
営業外費用計	11	122
経常利益	1,239	3,406



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>特別利益</b>		
投資有価証券売却益	2	112
金融商品取引責任準備金戻入	—	5
特別利益計	2	118
<b>特別損失</b>		
投資有価証券売却損	34	1
固定資産除却損	13	12
その他	1	—
特別損失計	49	14
税金等調整前四半期純利益	1,192	3,510
法人税、住民税及び事業税	327	790
法人税等調整額	29	287
法人税等合計	356	1,078
四半期純利益	836	2,431
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	836	2,431

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	836	2,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	511
その他の包括利益合計	△151	511
四半期包括利益	684	2,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	684	2,943
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

前連結会計年度までは、外貨建投資有価証券の為替リスクを回避する目的で実行する為替予約に係る為替差損益については、「金融収益（金融費用）」に含めて表示しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「営業外収益（営業外費用）」の「為替差益（為替差損）」として表示をしております。

これは、当社グループが株主資本の効率的運用の観点から、積極的な財務運営を行っている中で、従来より、外貨建投資有価証券により発生する運用損益は営業外損益として計上しており、当該為替差損益を営業外損益に計上することによって、外貨建投資有価証券の運用成果をより明瞭に表示できるものと考え、連結損益計算書上の表示区分を変更したものであります。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「金融収益」に表示しておりました24百万円を「営業外収益」の「為替差益」として組み替えております。

## 「参考資料」

## 1. 2021年3月期第3四半期連結決算資料

## (1) 受入手数料

## ① 科目別内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増 減		前連結会計年度
			金 額	増減率 (%)	
委託手数料	612	826	214	35.0	833
(株券)	(581)	(789)	(207)	(35.7)	(784)
(債券)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
(受益証券)	(30)	(37)	(6)	(22.3)	(49)
引受け・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の手数料	13	12	△0	△5.9	23
(株券)	(13)	(12)	(△0)	(△5.9)	(23)
(債券)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
募集・売出し・特定投資家向 け売付け勧誘等の取扱手数料	234	281	46	19.9	318
その他の受入手数料	170	159	△11	△6.8	226
合 計	1,031	1,280	248	24.1	1,401

## ② 商品別内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増 減		前連結会計年度
			金 額	増減率 (%)	
株券	598	805	206	34.6	812
債券	0	0	△0	△15.4	0
受益証券	420	443	22	5.4	569
その他	12	31	18	153.6	20
合 計	1,031	1,280	248	24.1	1,401

## (2) トレーディング損益

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増 減		前連結会計年度
			金 額	増減率 (%)	
株券等	29	56	27	93.1	△273
債券等	2,336	4,420	2,083	89.2	1,124
その他	△43	152	195	-	△70
合 計	2,322	4,629	2,306	99.3	780

## (3) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期	前第4四半期	当第1四半期	当第2四半期	当第3四半期
	2019. 10. 1	2020. 1. 1	2020. 4. 1	2020. 7. 1	2020. 10. 1
	2019. 12. 31	2020. 3. 31	2020. 6. 30	2020. 9. 30	2020. 12. 31
I 営業収益	2,087	△878	2,066	2,372	2,292
1. 受入手数料	358	370	409	404	466
2. トレーディング損益	1,344	△1,542	1,409	1,683	1,536
3. 金融収益	381	288	242	280	285
4. その他の営業収入	4	4	4	4	4
II 金融費用	15	16	14	19	15
純営業収益	2,072	△894	2,052	2,353	2,277
III 販売費・一般管理費	1,231	1,235	1,195	1,215	1,314
1. 取引関係費	119	129	117	138	126
2. 人件費	757	745	695	720	817
3. 不動産関係費	126	147	114	123	120
4. 事務費	133	133	134	139	136
5. 減価償却費	23	24	22	22	22
6. 租税公課	39	5	47	49	47
7. 貸倒引当金繰入額	—	—	36	△0	△0
8. その他	30	49	25	21	42
営業利益又は営業損失(△)	841	△2,129	856	1,138	963
IV 営業外収益	58	143	111	174	285
V 営業外費用	0	0	26	39	56
経常利益又は経常損失(△)	899	△1,986	941	1,273	1,192
VI 特別利益	2	2	7	8	101
VII 特別損失	15	24	11	1	1
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	886	△2,008	937	1,280	1,292
法人税、住民税及び事業税	218	△278	136	296	357
法人税等還付税額	—	△15	—	—	—
法人税等調整額	32	△318	156	94	36
四半期純利益又は四半期純損失(△)	635	△1,396	643	889	898
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0	0	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	635	△1,396	643	889	898

(注) 第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、前第3四半期及び前第4四半期については、当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しております。

2. 2021年3月期第3四半期決算資料

(1) 自己資本規制比率

(単位：百万円)

		前第3四半期末	当第3四半期末	前事業年度末
基本的項目 (A)		41,508	40,875	38,653
補完的項目	その他有価証券評価差額金(評価益)等	249	—	—
	金融商品取引責任準備金	19	13	19
	貸倒引当金	1	1	1
	計 (B)	270	15	20
控除資産 (C)		5,710	8,563	7,453
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C) (D)		36,069	32,327	31,221
リスク相当額	市場リスク相当額	4,101	3,460	3,396
	取引先リスク相当額	232	249	192
	基礎的リスク相当額	1,243	1,207	1,202
	計 (E)	5,577	4,918	4,791
自己資本規制比率 (D) / (E) × 100 (%)		646.6%	657.2%	651.6%

(2) 役職員数

(単位：人)

	前第3四半期末	当第3四半期末	前事業年度末
役員	10	10	10
従業員	235	237	230